

令和元年度 都道府県がん診療連携拠点病院

# PDCAサイクルフォーラム

---

令和2年2月8日(土) 13:30~17:00

国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟 大会議室

---

令和元年度PDCA サイクルフォーラム 出席一覧表

都道府県	施設名	出席者所属	氏名	席番号
北海道	北海道がんセンター	院長	加藤 秀則	D列-10
		広報担当室長	木川 幸一	D列-11
青森	青森県立中央病院	運営部経営企画室	萬谷 暁春	D列-14
岩手	岩手医科大学附属病院	がんセンター 長	伊藤 薫樹	D列-17
		がんセンター 事務室	藤川 優美子	D列-18
		岩手県保健福祉部医療政策室 がん対策特命課長	藤原 博隆	D列-19
宮城1	東北大学病院	副がんセンター長/ 放射線治療科 教授	神宮 啓一	D列-22
宮城2	宮城県立がんセンター	がん疫学・予防研究部	金村 政輝	D列-23
		宮城県保健福祉部健康推進課	早坂 美恵	D列-24
秋田	秋田大学医学部附属病院	地域がん医療学講座 教授/ 腫瘍情報センター長	本山 悟	D列-27
山形	山形県立中央病院	副院長(兼)がんセンター長(兼) 緩和ケアセンター長	福島 紀雅	E列-9
福島	太田総合病院附属 太田西ノ内病院 福島県立医科大学附属病院	副院長	山崎 繁	E列-10
		病院管理課 主査	齋藤 浩之	E列-11
茨城	茨城県立中央病院	看護局	角田 直枝	E列-15
		企画情報室	金井 達也	E列-16
		茨城県保健福祉部疾病対策課	園部 広由喜	E列-17
栃木	栃木県立がんセンター	副病院長	藤田 伸	E列-20
		がん情報相談課	小池 真人	E列-21
		保健福祉部健康増進課	青木 和教	E列-22
群馬	群馬大学医学部附属病院	腫瘍センター長	塚本 憲史	E列-23
埼玉	埼玉県立がんセンター	病院長	坂本 裕彦	E列-26
		がん診療連携協議会PDCAサイクル部 会長、消化器外科長	川島 吉之	E列-27
		埼玉県保健医療部 疾病対策課 がん対策担当	鈴木 久美子	E列-28
千葉	千葉県がんセンター	副病院長	浜野 公明	F列-10
		千葉県健康福祉部健康づくり支援課	松下 寛	F列-11
東京1	東京都立駒込病院	庶務課 がん拠点事務局	松本 優希	F列-7
東京2	公益財団法人 がん研究会 有明病院	がん対策事務局(総務部総務課)	太田 景子	F列-9
神奈川	神奈川県立がんセンター	医療局	金森 平和	F列-14
		患者支援センターがん相談支援室	得 みさえ	F列-15
		神奈川県健康医療局保健医療部 がん・疾病対策課	岸畑 裕宣子	F列-16
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	副病院長	竹之内 辰也	F列-23
		地域連携・相談支援センター	櫻井 圭美	F列-24
長野	長野県	長野県健康福祉部保健・疾病対策課	伊藤 和也	F列-19
富山	富山県立中央病院	医事課専門員	谷元 義忠	F列-22
福井	福井県立病院	院長	橋爪 泰夫	F列-27
		経営管理課	武部 都	F列-28
岐阜	岐阜大学医学部附属病院	がんセンター 緩和ケア部門長	杉山 陽子	G列-7
		医療支援課	藤谷 香澄	G列-8
		岐阜県健康福祉部保健医療課	上口 大輝	G列-9
滋賀	滋賀県立総合病院	精神科	伴 敏信	G列-5
京都1	京都府立医科大学附属病院	病院管理課 総務調整担当	田中 優子	G列-10
		京都府健康福祉部健康対策課 がん対策担当	長岡 正尚	G列-11

都道府県	施設名	出席者所属	氏名	席番号	
京都2	京都大学医学部附属病院	医務課 課長	前島 耕志	G列-14	
		医務課 診療情報業務掛	谷村 幸恵	G列-15	
大阪	大阪国際がんセンター	総長	松浦 成昭	G列-18	
		栄養腫瘍科 主任部長	飯島 正平	G列-19	
		がん相談支援センター 総括主査	池山 晴人	G列-20	
		健康医療部 健康推進室 健康づくり課 生活習慣病・がん対策グループ	奥平 麻衣子	G列-21	
兵庫	兵庫県立がんセンター	緩和ケアセンター長	池垣 淳一	G列-23	
		兵庫県健康福祉部健康局 疾病対策課	渡邊 克幸	G列-24	
奈良	奈良県立医科大学附属病院	病院管理課 病院総務係	子守 晶子	G列-27	
		奈良県福祉医療部医療政策局 疾病対策課	石田 岳之	G列-28	
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	緩和ケアセンター	石徹白 しのぶ	H列-2	
		事務局 経理課	権田 裕亮	H列-3	
		和歌山県福祉保健部健康局 健康推進課	三栖 健志	H列-4	
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	がんセンター	大山 賢治	H列-10	
島根	島根大学医学部附属病院	医療サービス課	田邊 誠	H列-12	
		島根県健康福祉部健康推進課 がん対策推進室	澄田 恵理	H列-13	
岡山	岡山大学病院	腫瘍センター	田端 雅弘	H列-16	
		腫瘍センター	久保 寿夫	H列-17	
広島	広島大学病院	広島市立広島市民病院 医療支援センター	桐山 里美	H列-28	
		広島市立広島市民病院 医療支援センター	中津 千恵子	H列-29	
		広島県健康福祉局がん対策課	窪園 悠哉	H列-30	
山口	山口大学医学部附属病院	腫瘍センター 准教授	吉野 茂文	H列-20	
香川	香川大学医学部附属病院	医療支援課	澤井 直樹	H列-22	
高知	高知大学医学部附属病院	がん治療センター センター長	小林 道也	I列-1	
		がん治療センター 看護師長	藤原 キミ	I列-2	
		がん相談支援センター 副センター長	前田 英武	I列-3	
福岡1	九州大学病院	高知県健康政策部 健康対策課	山田 真由美	I列-4	
		病院事務部 医療管理課 医療管理係	佐々木 亜記	I列-10	
福岡2	九州がんセンター	副病院長	古川 正幸	I列-13	
佐賀	佐賀大学医学部附属病院	がんセンター 院内がん登録室	佐々木 和美	I列-16	
		佐賀県健康福祉部健康増進課 がん撲滅特別対策室	北島 健一	I列-17	
長崎	長崎大学病院	緩和ケアセンター	石井 浩二	I列-21	
熊本	熊本大学病院	病院事務部医療サービス課	前田 巖	I列-28	
		病院事務部医療サービス課	手嶋 優太	I列-29	
宮崎	宮崎大学医学部附属病院	がんセンター	細川 歩	J列-10	
鹿児島	鹿児島大学病院	医療支援課	宮浦 伸生	J列-11	
		緩和ケアセンター	恒吉 里美	J列-15	
		緩和ケアセンター	田畑 真由美	J列-16	
沖縄	琉球大学医学部附属病院	今給黎総合病院	緩和医療課	大瀬 克広	J列-17
		がんセンター	伊佐 奈々	J列-20	

## 令和元年度 都道府県がん診療連携拠点病院 PDCAサイクルフォーラム

### プログラム

【日時】令和2年2月8日(土) 13:30~17:00

【場所】国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟 大会議室

【目的】がん診療連携拠点病院のがん医療の質を向上することを目指し、都道府県内のPDCAサイクル確保に資する情報共有の場として本フォーラムを開催致します。

#### 【プログラム】

---

13:30-13:40	1. 開会挨拶	
13:40-13:50	2. がん診療連携拠点病院等に求められるPDCAサイクル	国立がん研究センター 加藤 雅志
13:50-14:15	3. 神奈川県におけるがん薬物療法ピアレビュー	神奈川県立がんセンター 酒井リカ
14:15-14:40	4. 山口県のピアレビューについて	山口大学医学部附属病院 山縣 裕史
14:40-15:05	5. 厚生労働省の実地調査について	厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課
15:05-15:15	休憩	
15:15-15:40	6. 千葉県の取り組み	千葉県がんセンター 丹内 智美
15:40-15:55	7. 都道府県レベルでのPDCAサイクル —都道府県内での共通目標の設定—	国立がん研究センター 加藤 雅志
15:55-16:20	8. 愛知県がん診療連携拠点病院協議会PDCAサイクルの 共通の取り組み	藤田医科大学 河田 健司
16:20-16:35	9. がん相談支援のPDCAサイクルの確保に関する 取り組みについて	国立がん研究センター 高山 智子
16:35-16:50	10. がん医療の均てん化 指標の測定に関する研究 (QI研究 2016年症例)	国立がん研究センター 東 尚弘
16:50-16:55	11. 総合討論	
16:55-17:00	12. 閉会挨拶	

---

## 目次

---

プログラム	1
目次	3
2. がん診療連携拠点病院等に求められるPDCAサイクル 国立がん研究センター 加藤 雅志	5
3. 神奈川県におけるがん薬物療法ピアレビュー 神奈川県立がんセンター 酒井 リカ	15
4. 山口県のピアレビューについて 山口大学医学部附属病院 山縣 裕史	37
5. 厚生労働省の実地調査について 厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課	57
6. 千葉県の取り組み 千葉県がんセンター 丹内 智美	59
7. 都道府県レベルでのPDCAサイクル—都道府県内での共通目標の設定— 国立がん研究センター 加藤 雅志	75
8. 愛知県がん診療連携拠点病院協議会PDCAサイクルの共通の取り組み 藤田医科大学 河田 健司	85
9. がん相談支援のPDCAサイクルの確保に関する取り組みについて 国立がん研究センター 高山 智子	103
10. がん医療の均てん化 指標の測定に関する研究(QI研究 2016年症例) 国立がん研究センター 東 尚弘	121
第12回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会(令和元年7月10日開催) 事前アンケートの結果	129

## 2. がん診療連携拠点病院等に 求められるPDCAサイクル

---

---

## 2. がん診療連携拠点病院等に求められるPDCAサイクル

### がん診療連携拠点病院等に 求められるPDCAサイクル

国立がん研究センターがん対策情報センター  
加藤雅志

#### がん診療連携拠点病院等に求められる PDCAサイクル確保に関するこれまでの状況

- 平成26年（2014年）に見直されたがん診療連携拠点病院の整備指針で、がん医療の質を改善していくことを目的に、PDCAサイクルの確保を、**病院レベル、都道府県レベル、国レベル**で取り組んでいくことが初めて定められた。
- 当初、「**都道府県レベルでPDCAサイクルの確保**」をについて、各都道府県はどのような活動をすればよいのかわからない中、先進的な都道府県がん診療連携拠点病院が、**試行錯誤を重ねながら様々な取り組みを開始した。**
- 平成27年度（2016年2月）より、国立がん研究センターではPDCAサイクルフォーラムを開催し、**都道府県レベルのPDCAサイクル**を中心のテーマとして、**全国の取り組みを共有し、各都道府県の支援**を行っている。

## 第3期がん対策推進基本計画

(2018年3月閣議決定)

### 第2 分野別施策と個別目標

#### 2. 患者本位のがん医療の実現

～適切な医療を受けられる体制を充実させる～

#### (2) がんの手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法の充実

- ① がん医療提供体制について（医療提供体制の均てん化・集約化、医療安全、制度の持続可能性等）

(取り組むべき施策)

国は、拠点病院等における質の格差を解消するため、診療実績数等を用いた他の医療機関との比較、第三者による医療機関の評価、医療機関間での定期的な実地調査等の方策について検討する。

平成30年7月31日 厚生労働省健康局長通知  
がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針



## 2. がん診療連携拠点病院等に求められるPDCAサイクル

### 求められているPDCAサイクルの確保の体制

#### ①拠点病院レベル

○自施設の診療機能や診療体制、診療実績、地域連携に関する実績や活動状況、患者QOLについての把握、評価、共有、広報

#### ②都道府県レベル

○都道府県拠点病院が中心となり、都道府県協議会を設置、以下を協議

- ・各都道府県における地域拠点病院等のPDCAサイクル確保体制とその実績
- ・各都道府県における地域拠点病院等の診療機能や診療体制、診療実績、地域連携に関する実績や活動状況

#### ③全国レベル

○国立がん研究センターが中心となり、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（国協議会）を設置、以下を協議

- ・都道府県拠点病院のPDCA確保に関する取り組み状況の把握
- ・都道府県拠点病院を介した全国の拠点病院等の診療機能や診療実績等の情報収集

### 病院のがん診療の質を改善していく取り組み

#### 1 がん診療評価指標（Quality Indicator）

国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部

#### 2 がん診療体制の質に関する調査

東京大学大学院 PCAPSがん質評価班

#### 3 がん相談支援のPDCAサイクル確保の取り組み

国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部

#### 4 緩和ケアチームセルフチェックプログラム

日本緩和医療学会  
など

※相互評価（ピアレビュー）は、都道府県レベルで取り組むものですが、「病院の診療の質の改善を目的としたもの」ということもできます。



## 求められているPDCAサイクルの確保の体制

### ①拠点病院レベル

○自施設の診療機能や診療体制、診療実績、地域連携に関する実績や活動状況、患者QOLについての把握、評価、共有、広報

### ②都道府県レベル

○都道府県拠点病院が中心となり、都道府県協議会を設置、以下を協議

- ・各都道府県における地域拠点病院等のPDCAサイクル確保体制とその実績
- ・各都道府県における地域拠点病院等の診療機能や診療体制、診療実績、地域連携に関する実績や活動状況

### ③全国レベル

○国立がん研究センターが中心となり、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（国協議会）を設置、以下を協議

- ・都道府県拠点病院のPDCA確保に関する取り組み状況の把握
- ・都道府県拠点病院を介した全国の拠点病院等の診療機能や診療実績等の情報収集

## 都道府県レベルで がん診療の質の向上を目指す取り組み

- 1 研修会の開催
- 2 相互評価の実施
  - 2-1 会議や研修会での相互評価
  - 2-2 実地訪問による相互評価
- 3 都道府県内で共通目標を設定した改善活動の実施

## 2. がん診療連携拠点病院等に求められるPDCAサイクル

### 都道府県レベルのがん診療の質向上のための取り組み状況

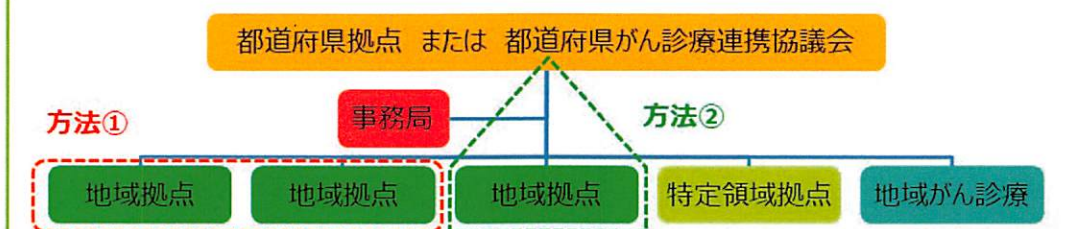
第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（2019年7月10日開催）資料

	N=47	
	n	%
● 拠点病院のがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保で活用している方法		
現況報告書を用いて拠点病院間の情報を共有	22	46.8
院内がん登録データを用いて情報共有	24	51.1
がん診療評価指標（Quality Indicator）の研究に参加	26	55.3
がん診療連携病院における診療体制に関する調査に参加	15	31.9
都道府県内共通のフォーマットを用いたPDCA活動の情報共有	16	34.0
特定のメンバーが訪問する実地調査 ※	8	17.0
病院間の相互訪問による実地調査 ※	18	38.3

※ 実地調査を実施している重複を除いた都道府県数 23（48.9%）

### 都道府県レベルで取り組む 実地訪問による相互評価（ピアレビュー）

- ピアレビューを実施するために必要となる準備
  - ・都道府県内の関係者の調整、情報収集・分析・評価・改善等を管理する事務局機能
  - ・実地訪問をする目的を明確にする。  
「現場の困りごとを解決するための支持的なピアレビュー」なのか、「監査的なピアレビュー」なのか
  - ・都道府県内の実地調査の方法の決定
    - 方法① 複数施設の相互訪問による実地調査
    - 方法② 都道府県内の中心的メンバーが調査委員となり実地調査





# ピアレビュー実施支援事業

## 都道府県内の緩和ケアの医療水準の向上を目指した 施設訪問によるピアレビュー

### 【目的】

- 厚生労働省からの委託事業に基づき、拠点病院の緩和ケア等のがん医療の質の向上を目指し、同じ都道府県内の他の拠点病院や外部の専門家等が**施設訪問による実地調査を行うことを支援**する。  
そして、都道府県内で現場で困っていることを中心とした課題の解決に向けた話し合いを行い、**具体的な臨床活動の改善に取り組む体制構築の支援**を行う。

平成27年度 福岡県、北海道  
平成28年度 三重県  
平成29年度 鹿児島県  
平成30年度 和歌山県、山口県、秋田県、愛知県  
(薬物療法に関して) 神奈川県

## 都道府県内で実施するまでのステップ例

### 1. 県内関係者へのピアレビューの説明（講義）

実施方法や成果のイメージ化

### 2. 県内関係者間の意見交換

- ①ピアレビューの疑問や不安、困りごとの共有
- ②県内で実施可能な方法具体的なアイデア出し

### 3. 県内のコアメンバーと、実施スケジュールの確定

- ①レビューを担当する県内コアメンバーの決定
- ②各施設での実施スケジュールの調整と確定

## 2. がん診療連携拠点病院等に求められるPDCAサイクル

### 「やってよかった！」と思える 実地訪問によるピアレビューの実施に向けて

- ピアレビューのやり方は、都道府県内でよく話し合い、納得した形で進めていくことが重要。ただし、**まずは一度やってみて、修正していく方法も有用**
- 現場レベルのピアレビューであれば、監査的なものではなく、**困りごとの解決を目指したもの**にする方が効果的な場合が多い
- 改善策を実現していくためには、病院長等の幹部の理解が必須で、**病院長の出席を原則**とするのが良い
- 実地訪問が**単なる「見学会」にならないように**、レビュアーの中に必ずその領域の専門家を含まなければならない
- 自県以外の外部レビュアーを含む**方が、適度な緊張感が生まれるとともに、アドバイスの視点も広がる
- 県内で共通のチェック項目を定める**ことも有効。ただし、指定要件を満たしているかという項目ではなく、県内共通の関心テーマを項目にする。

### 都道府県内で共通の評価テーマを定める 例えば「痛み」を緩和する体制を相互評価する

1. 痛みを抱える患者が我慢せずに痛みを訴えることができるのか
2. スクリーニングで痛みを抱える患者を見だし、適切な医療者が対応できているか
3. 医師、看護師、その他の医療従事者による基本的な緩和ケアが実施されているのか
4. 基本的緩和ケアで軽減できない痛みを専門家（緩和ケアチームやその他の専門家）に紹介しているのか
5. 専門的な緩和ケア（緩和ケアチームやその他の専門家）が十分に機能しているのか
6. 院内の専門家（緩和ケアチームやその他の専門家）で対応できない痛みに対して外部の専門家に相談できる体制があるのか

**拠点病院の指定要件の充足状況を確認するのではなく、診療の質を改善するためにはどうすればよいのかという視点で現場の活動を評価する**



## 都道府県レベルで がん診療の質の向上を目指す取り組み

- 1 研修会の開催
- 2 相互評価の実施
  - 2-1 会議や研修会での相互評価
  - 2-2 実地訪問による相互評価
- 3 都道府県内で共通目標を設定した改善活動の実施

## 都道府県レベルでがん診療の質の向上を目指す 会議や研修会での相互評価

都道府県内の専門領域の関係者が会議室等を集まり、各施設が診療状況や改善活動の取り組みについて報告し、相互に評価し更なる改善について意見交換していくことで、診療の質の改善を目指す

都道府県内で、**共通の方法**で、各病院が診療状況や改善の取り組み状況を報告することで、病院間比較や相互評価がしやすくなる

「がん診療評価指標（QI）」、「がん診療体制の質に関する調査」、「**緩和ケアチームセルフチェックプログラム**」やチェックリスト等を用いるのも有用